

# 中澤省一郎のSS経営メールマガジン No.25

(配信は不定期です。できる限り月1回以上は配信します)

## 第1部 コスモ石油、坂出製油所の閉鎖が公表されました。

8月28日にコスモ石油から、坂出製油所を来年7月で閉鎖する公表がありました。

コスモ石油の公表 [http://www.cosmo-oil.co.jp/press/p\\_120828/index.html](http://www.cosmo-oil.co.jp/press/p_120828/index.html)

以前から予想されていた通りですので、別段の驚きはありませんが、粛々と設備廃棄が進んでいると言った感じです。地元の香川県の抵抗等が強いのは察して余りあるので、公表が遅れたのだと思います。高度化法をクリアするためには、残った堺、四日市、千葉の3製油所の一部の設備廃棄か、コーカーかRFCCの設備の増強が必要になりますが、おそらく、千葉製油所の一部の設備廃棄とするのではないかと推察しています。

(千葉県等との折衝で、震災前への完全復旧は難しいと推察しています)

今後の注目は

- (1) TGは、どの設備を廃棄するのか？または、コーカー、RFCCの増強を行うか？  
(私は、前者だと思ってます。和歌山か堺のいずれかを閉鎖するのではと推察しています)
  - (2) JXは、追加的にどこを閉鎖するか？又は、削減するか？  
(私は室蘭を閉鎖するのではと推察しています。  
もし、室蘭を閉鎖する場合には、出光との間に新たな業務提携等の可能性があります)
  - (3) TGの自己株1億株は誰が引き受けるのか？それに伴う業界再編はあるのか？
- この三つ、若しくは二つ(コスモの追加廃棄等も含む)が連動する可能性もあります。

<新日鉄と住友金属の合計2,400億円の減損処理>

8月31日の日経新聞一面に新日鉄と住友金属の各1,200億円、合計2,400億円の減損処理が公表されました。

これは新日鉄は9基、住金は5基保有する「高炉(=石油業界のトッパー)の合併後の削減への準備」であると推定しています。(高炉の削減は合併後になるが、合併後の確実な利益計上のために合併前の減損処理)鉄鋼業界の再編等は、石油業界の2、3歩先を行っており、石油業界はその後を追っています。

今までは、純粋な外資(EM)が存在したため、業界再編は遅れがちでしたが、今後は、鉄鋼業界との差が縮まる方向での再編が加速されると思います。上記の(1)(2)(3)にご注目ください。

## 第2部 GS経営者のための会計・税務セミナー 10月23日(第1回) / 10月24日(第2回)

会計処理と税務申告は会計事務所の丸投げして、毎月の管理をPOSの結果を参考にして毎月のSS管理をしている会社が多いと思います。この結果 **経営改善が遅れる** **資金調達力に問題が生じる** 場合が散見されます。

- 本年4月より、売上高5億以上の会社は消費税増税となり、納税額の最小化に最も適した「個別対応方式」には、適切な部門別管理が必須。
  - 本年5月に、『中小企業会計に関する基本要領』が公表された。
  - 来年3月には、『金融円滑化法』が廃止される。
- というタイミングで、以下のセミナーを開催します。

今回はスタンド経営者にとって、経営を効率的にスムーズに行うための必須のセミナーであると考えて、二日間に渡り開催します。一日目は会社全体をテーマとして、二日目は、POSを最大限活用した正確な部門別月次決算を行い、SS毎の経営改善をすることを目指します。同時に、将来の消費税増税にも対応いたします。

《GS経営者のための会計・税務セミナー》

10月23日(火) 「GSの経営改善・資金調達力強化のための会計・税務1—金融円滑化法廃止にも対応」

10月24日(水) 「消費税増税に対応しPOSに連動する正確かつ迅速な部門(SS)別・月次決算1」

詳細は、次ページからのセミナー案内をご覧ください。